

平成 16 年 12 月 9 日

各位

会社名 アンジェス MG 株式会社
代表者 代表取締役社長 山田 英
(コード番号 4563 東証マザーズ)
問い合わせ先 社長室 マネージャー
林 毅俊
電話番号 03-5730-2753

**当社プロジェクトが医薬品医療機器総合機構委託事業に採択
- NF B デコイオリゴを用いたアトピー性皮膚炎治療薬の臨床試験開始へ -**

独立行政法人医薬品医療機器総合機構(以下、総合機構)は、画期的な医薬品・医療機器開発を促進することを目的として、平成 16 年度医薬品・医療機器実用化研究支援事業の研究テーマを公募しておりましたが、この度、当社の NF B デコイオリゴを用いたアトピー性皮膚炎治療薬開発プロジェクトが、同支援事業の対象として採択されましたのでお知らせいたします。

NF B デコイオリゴは、アトピー性皮膚炎や関節リウマチなど免疫炎症性疾患を対象とする核酸医薬として開発を進めております。このうち、アトピー性皮膚炎に関しては、国内で約 140 万人と患者数が多いものの、特に顔面の重症アトピー性皮膚炎に関しては未だ有効な治療薬がなく、新しい治療法の開発が切望されている疾患領域です。

こうした背景のなかで、NF B デコイオリゴは、転写因子を特異的に抑制するという特徴があることから、効果的で副作用の少ない画期的な治療薬になる可能性があり、今回総合機構の支援事業の対象として採択されました。

今回の総合機構支援事業への採択により、当社は、アトピー性皮膚炎治療薬開発プロジェクトに関する開発費に対して、原則として3年間に渡って補助金を受取ることができ、本年度については年間1.2億円を予定しており、当社のアトピー性皮膚炎治療薬の臨床試験を進めるうえで、資金面からのサポートを受けることができます。

当社は、この総合機構からの支援を受けて、来年度からNF B デコイオリゴのアトピー性皮膚炎治療薬としての臨床試験を開始する予定で、現在日米両国で臨床試験を進めております HGF 遺伝子治療薬に続いて臨床試験段階にある開発品を強化し、創薬ベンチャーとしての開発ポートフォリオを充実させてまいります。

<ご参考>

1. NF- κ B (nuclear factor-kappa B)

NF- κ B は、サイトカインや接着因子など免疫反応に関する遺伝子の発現を調節する役割をもつ転写因子です。NF- κ B がゲノム上の結合部位に結合すると、免疫反応に関する遺伝子が過剰に発現します。このため、NF- κ B は、免疫反応が原因となるアトピー性皮膚炎、乾癬や関節リウマチへの関与が指摘されています。

2. デコイ

遺伝子は、転写因子がゲノムに結合してスイッチが入りますが、デコイは、そのゲノム上の転写因子結合部位と同じ配列を含む二重鎖の短い核酸で、体内に投与すると転写因子がゲノムに結合することを阻害して遺伝子の働きを抑えます。

3. NF- κ B デコイオリゴ (NF- κ B decoy oligodeoxynucleotide)

NF- κ B デコイオリゴは、NF- κ B に対するデコイであり、当社では、アトピー性皮膚炎、乾癬や関節リウマチなど免疫反応を原因とする疾患の治療薬として開発しております。

4. アトピー性皮膚炎

アトピー性皮膚炎は、痒みのある湿疹を伴う皮膚炎で、悪化や改善を繰り返しながら長期間続くのが特徴です。過剰免疫によるアレルギー反応が原因と考えられており、卵や牛乳等の飲食、ダニやホコリ等の環境、及びストレスなどによっても生じる場合もあります。患者数は増加傾向にあり、現在、日本で約 140 万人と推定されております。

以上